

シロイチモジヨトウ 発生多い、防除を。



←ネギ
を食害す
る幼虫



レタスを食害する幼虫



卵塊

シロイチモジヨトウは、ハスモンヨトウより一回り小さく食害の様子も似ています。野菜、花きの葉を始め花も食害します。

ネギでは、卵からかえった幼虫が葉芯内に食い入り、中から表皮を残して葉を食害します。被害を受けた葉は、かすり状になります。

愛知県は、キャベツ、ハクサイ、ダイコン、ネギ、ホウレンソウ、大豆等に害を及ぼすシロイチモジヨトウに関する発生予察注意報を出しました。

フェロモントラップへの誘殺数が7月下旬から増え始め、平年よりかなり多くなっています。高めの気温が続くと、発生が多くなると考えられます。

- 卵や孵化幼虫を見つけしだい、すみやかに防除してください。
- 齢が進み大きくなると薬剤効果が落ちます。若齢幼虫のうちに防除してください。

○ 薬剤感受性が低下しないように、同類の農薬の連用を避けます。

○ 本虫は雑草にも寄生します。ほ場周辺の除草に努めてください。

★ オオタバコガ、コナガ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガなどのチョウ目の害虫にも注意しましょう。

シロイチモジヨトウ 主な防除薬剤

コテツフロアブル、アフーム乳剤、プレオフロアブル、アニキ乳剤、フェニックス顆粒水和剤、プレバソソフロアブル、カスケード乳剤

JA あいち海部 南部営農センター園芸課